

子どもたちの笑顔と元気を大切に



塩尻市教育委員会

● 今後の改革の方向性について

国の検討会議において中間とりまとめが示されました。【一部抜粋】



1 改革の理念及び基本的な考え方等

○民間クラブとの区別や質の担保の観点から、**地域クラブ活動の定義・要件や認定主体、認定方法を国として示す。**

○名称について、地域クラブ活動の在り方等をよりの確に表すため、**「地域移行」→「地域展開」に変更する。**



2 今後の改革の方向性：

- ・休日については、**次期改革期間内に原則全ての部活動において地域展開の達成を目指す。**
- ・平日については、各種課題を解決しつつ更なる改革を推進。まずは、国において、地方公共団体が実現可能な活動の在り方や課題への対応策の検証等を行うとともに、地域の実情に応じた取り組みを進める。

○次期改革期間：

・**前期（令和8年～10年度）→（中間報告）→後期（令和11～13年度）**

※10年度までに休日移行完了。13年度までに平日移行完了。

○費用負担の在り方：

- ・**受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方を検討する。**
- ・ふるさと納税、クラウドファンディング等の寄付の活用等新たな財源の確保を組み合わせていくことが重要。

● 今後の予定（塩尻市）

- ・2月14日（金）塩尻市中学校部活動地域移行等協議会を開催します。

国の方向性を確認し、7年度以降の本市の在り方について協議します。

【コーディネーターのつぶやき ⑦】

・昨年行われた4年に一度の祭典オリンピック。塩尻市は、出口クリスタ選手の金メダルで大いに沸きました。広丘で行われた祝賀パレードを見に行きましたが、明るく元気なクリスタ選手が、地域に元気と活力を運んでくれたことを実感しました。その快挙をお祝いしつつ、もう一人注目している選手がいました。パラリンピックでブラインドサッカーに出場した平林太一選手です。小学生時代、彼は盲学校に通いながら出身地の小学校と交流していましたが、当時私はその小学校に勤務していました。とても明るい性格で、誰とでも気さくに話をする太一君。サッカーにおけるアグレッシブなドリブルは、当時から健在でした。残念ながら、今回は悔しい思いをしたと思いますが、これから一層の成長が期待されます。二人の選手を通して、明るく前向きに頑張れることがあるって本当に素晴らしいと感じました。今の子どもたちにもそうあって欲しいと願う姿です。

最新の情報は、市公式ホームページで公開しております。

部活動地域移行

検索



担当：塩尻市教育委員会事務局 学校教育課児童生徒支援係
係 長：小松 義宏 部活動総括コーディネーター：中沢 寛
電 話：0263-52-0830
e-mail：gakkou@city.shiojiri.lg.jp